

# 森林の植生と土壌の関係を調べる研究など ：森林土壌学・植物生態学

教員名：小舘 誓治

連絡先メールアドレス：kodate<atmark>hitohaku.jp

## ◎ どのような研究をしていて、どんなことに役立つのか？

身近な生態系として森林は重要です。その森林植生（アカマツ林などの里山林や、照葉樹林など）を対象に、それらを構成する植物の種類や現存量などとその生育環境を調査しています。生育環境に関しては、特に土壌（土壌物理性など）に着目して、それぞれの植生や植物がどのような環境で生育しているのかを研究しています。これらの調査を通じて森林に関するデータを蓄積することによって、森林の保全・管理などに役立つと考えています。



アカマツ林内



アカマツ林の土壌断面



アカマツの実生調査地

## ◎ 主な研究業績

- 1) 《森林植生と土壌の関係に関する研究》小舘誓治・武田義明（2016）アカマツ林小面積皆伐初期におけるアカマツの定着・成長と土壌環境. 人と自然, 27:33-41.
- 2) 《森林植生と土壌の関係に関する研究》小舘誓治（2013）尾根型斜面地におけるマツ枯れ被害度と土壌環境との関係. 人と自然, 24:1-7.
- 3) 《森林植生と土壌の関係に関する研究》小舘誓治（2009）六甲山系における砂防堰堤上流側に発達した森林植生とその土壌環境. 日本造園学会誌(ランドスケープ研究), 72(5), 905-98.

## ◎ 学生に向けて一言

森林の植生や土壌に興味・関心を持っている方、一緒にフィールドにでて、調査・研究を行いませんか？